

(4) 引用文献

- 1 浮遊粒子状物質対策検討会. 浮遊粒子状物質汚染予測マニュアル 1997:53-83.
- 2 米持 真一, 梅沢 夏実, 松本 利恵, 武藤 洋介. 騎西・鴻巣地域における春から夏期を中心としたPM_{2.5}汚染実態, 埼玉県環境科学国際センター報 第2号.
http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BA30/labo/report/no2/2001_113.pdf.
- 3 兼保 直樹. 初冬季の光化学大気汚染—NO₂からSPMへ. 大気環境学会誌 2002;37-4:231-244.
- 4 黄砂問題検討会. 黄砂問題検討会報告書. 2005. <http://www.env.go.jp/earth/dss/report/>.
- 5 気象庁. 黄砂観測のべ日数. http://www.data.kishou.go.jp/obs-env/kosahp/kosa_table_0.html
- 6 浮遊粒子状物質対策検討会. 浮遊粒子状物質汚染予測マニュアル 1997:145-176.
- 7 日本エアロゾル学会. エアロゾル用語集 2004;24-25
- 8 日本エアロゾル学会. エアロゾル用語集 2004;58-59
- 9 日本エアロゾル学会. エアロゾル用語集 2004;60-61.
- 10 長谷川 就一, 若松 伸司, 田邊 潔, 小林 伸治. 都市域におけるエアロゾル中炭素成分の実態. エアロゾル研究 2006;21-4:312-321.
- 11 日本エアロゾル学会. エアロゾル用語集 2004;62-63.
- 12 日本エアロゾル学会. エアロゾル用語集 2004;154-155.
- 13 三宅島火山ガスに関する検討会. 三宅島火山ガスに関する検討会報告書 2003.
<http://www.metro.tokyo.jp/SAIGAI/SAITAI/SHOUSAI/x0d49100.htm>.
- 14 神成 陽容, 外岡 豊, 馬場 剛, 村野 健太郎. EAGrid2000 (東アジア大気汚染物質排出量グリッドデータベース) の概要 2006.
http://www.cger.nies.go.jp/cger-j/db/enterprise/eagrid/data/Introduction_j.pdf
- 15 酸性雨研究センター. 部門別国内排出量総括表 (1998年). e コース「酸性雨と環境」付属資料.
http://www.eanet.cc/product/acid_environment/l1cause/l1_media/Shiryou_BumonBetsuKokunaiHaishutsuRyouSoukatsuHyou_1998.doc.
- 16 岡本 眞一. 大気環境予測講義 2001;71-73.
- 17 片山 学, 大原 利眞, 村野健太郎. 東アジアにおける硫黄化合物のソース・リセプター解析—地域気象モデルと結合した物質輸送モデルによるシミュレーション—. 大気環境学会誌 2004;39-4:200-217.
- 18 浮遊粒子状物質対策検討会. 浮遊粒子状物質汚染予測マニュアル 1997:19-31.
- 19 松本 利恵, 米持 真一, 丸山 由喜雄, 小久保 明子, 坂本 和彦. 非海塩由来塩化物イオン沈着物に対する廃棄物焼却施設の影響. 大気環境学会誌 2006;41-3:135-143.
- 20 溝畑 朗, 伊藤 憲男, 楠谷 義和. 道路沿道における大気浮遊粒子状物質の物理的・化学的特性 2000;35-2:77-101.
- 21 内山 茂久. 大気中の粒子状物質におけるイオン成分の粒度別季節変動. 大気汚染学会誌 1990;25-1:77-84.
- 22 日本エアロゾル学会. エアロゾル用語集 2004;156-157.
- 23 黄砂問題検討会. 黄砂実態解明調査中間報告書. 2007.
<http://www.env.go.jp/earth/dss/torikumi/chosa/rep1/full>.
- 24 気象庁. 11月の天候. 気象庁報道発表資料. 2005.
<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko0511.pdf>.
- 25 国立環境研究所. 東アジアからの越境大気汚染—2つの大規模汚染パターン—. 国立環境研究所公開シンポジウム 2002. <http://www.nies.go.jp/sympo/2002/pos/01.pdf>.
- 26 粒径分布図の作成には、「Excelアドイン工房」の「AndersenAnalyzer (Andersen97.xla) Ver.2.8」(作成者: 青森県環境保健センター 早狩 進氏) を用いた。
<http://www.jomon.ne.jp/~hayakari/index.html>
- 27 浮遊粒子状物質対策検討会. 浮遊粒子状物質汚染予測マニュアル 1997:12-18.
- 28 浮遊粒子状物質対策検討会. 浮遊粒子状物質汚染予測マニュアル 1997:267-284.
- 29 笠原 三紀夫, 東野 達. エアロゾルの大気環境影響 2007;113-172.

- 30 Roy M.Harrison, Alan M.Jones, Royston G.Lawrence.A pragmatic mass closure model for airborne particulate matter at urban background and Roadside sites. Atmospheric Environment 2003;37:4927-4933
- 31 VISIBILITY MONITORING GUIDANCE EPA-454/R-99-003 June 1999
- 32 Review of the National Ambient Air Quality Standards for Particulate Matter: Policy Assessment of Scientific and Technical Information OAQPS Staff Paper EPA-452/R-05-005a December 2005;2.3.5 Measurement Issues